

Apeos 4570
Apeos 3570

取扱説明書

本機を使用する前に必ずこのマニュアルをお読みください。このマニュアルは、読み終わったあとも必ず保管してください。

- このマニュアルの編集、変更、または無断で転載はしないでください。
- このマニュアルに記載されている内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- このマニュアルに記載されている画面やイラストは一例です。ご使用の機種やソフトウェア、OSのバージョンによって異なることがあります。

2025年 3月 GM1522J1-4 第1版

操作パネル

■ 操作パネルの機能

ホームボタンを押すと、ホーム画面が表示されます。

1. 電源/節電ボタン

電源が入ります。

補足

- 「お待ちください...」が表示されているときは、本機のウォームアップ中です。この間は、使用できません。
- 電源が入らない場合は、電源プラグが差し込まれていることを確認してください。

2. NFCタッチエリア

お使いのNFC対応モバイル機器をかざすエリアです。相互通信するには、本機のNFC機能が有効になっている必要があります。

3. データランプ

本機からデータを送信中や、クライアントコンピューターからのデータを受信中に、点滅します。

また、機械内部に文書を蓄積しているときや、ファクス親展受信文書がボックス内に蓄積されているときは点灯します。

4. 状態表示ランプ

操作を受け付けた瞬間、緑色で点灯します。エラーが起きると、オレンジ色で点滅します。

5. ログイン

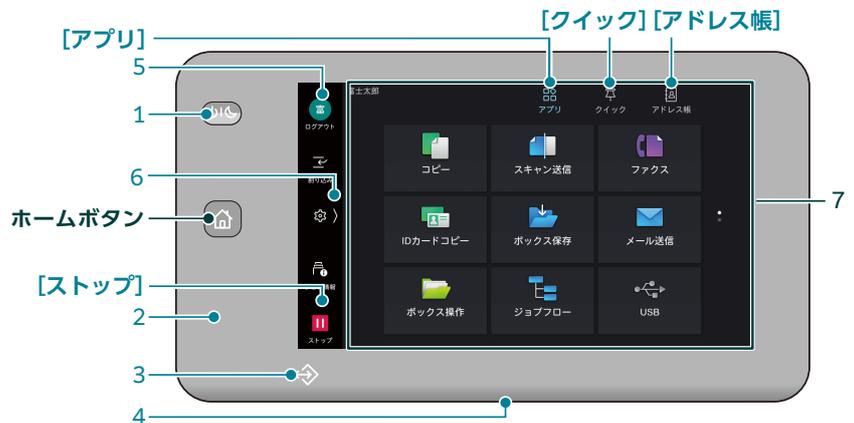
ユーザーIDを入力してログインすると、認証されます。

機械管理者権限でログインすると、「[機械管理者]」と表示されます。認証中にタップすると、ログアウトして未認証になります。

6. メニューを開く

タップするとメニューが開き、本機の設定を変更したり、設定内容を確認したりできます。

[<] をタップするとメニューを閉じます。



7. ホーム画面

アプリ/クイック/アドレス帳画面を切り替えて表示できます。

- [アプリ]：アプリケーションアイコンをタップして、機能を利用できます。
- [クイック]：ジョブ指示履歴と、ユーザーが [ピン留め] したジョブ指示履歴からジョブを再実行できます。ジョブ指示履歴をピン留めしておくと、アプリを開かずに直接ジョブを起動できます。
- [アドレス帳]：宛先などの情報を登録します。登録した宛先からアプリを起動できます。アプリの起動後は、選択した宛先がアプリの送信先に設定された状態になります。

■ 電源を切る

電源を切ると、本機のすべての機能が停止します。

🔔 注記

次の状態の場合は、電源を切らないでください。電源を切ると、処理中のデータが消去されることがあります。

- データ受信中 (データランプが点灯している)
- 用紙の排出終了後、5秒以内
- コピー、またはスキャン中

1. 電源/節電ボタンを押します。

🗨️ 補足

電源/節電ボタンを長押ししても、電源が切れます。

2. [電源を切る] をタップします。



■ ピン留め

各アプリの機能リストから、現在の設定値を保存してピン留めを作成できます。また、過去に実行したジョブのジョブ指示履歴をピン留めすると、同じ設定で簡単にジョブを実行できます。

🗨️ 補足

- ジョブ指示履歴およびピン留めは、ユーザーごとに管理されます。
- ピン留めされたジョブ指示履歴は、上書きされません。
- 機械管理者モードで作成されたピン留めはすべてのユーザーに共有されます。
- 共有ピン留めの変更/削除は、機械管理者モードで実施できます。

ジョブ指示履歴をピン留めする

1. ログインします。

2. ホーム画面で、[クイック] をタップします。

3. ピン留めしたい履歴の右側の [ピン留め] をタップし、[ピン留め] をタップします。



ピン留めしたジョブ指示履歴からジョブを実行する

[クイック] 画面でピン留めされたジョブの右側の [ピン留め] をタップして、[今すぐ実行] をタップします。



機能リストからピン留めする

1. ログインします。

2. [アプリ] 画面で目的のアプリケーションアイコンをタップします。

3. 必要に応じて、各項目を設定します。

4. [設定を保存] をタップします。



5. [保存名] を入力し、[OK] をタップします。

用紙のセット

注記

- トレイの空きスペースには、用紙や物を置かないでください。紙詰まりや故障の原因になります。
- プリンターがジョブを処理している間は、ジョブで使用している用紙トレイを引き出さないでください。

補足

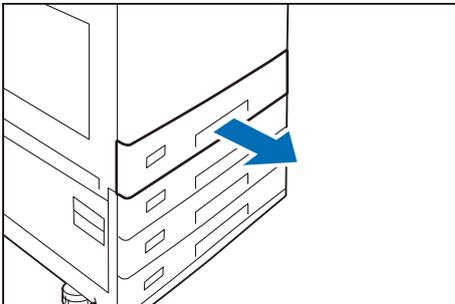
用紙を用紙トレイにセットする前に、用紙をよくさばいてください。用紙のくっつきをなくして、紙詰まりを起こしにくくします。

標準トレイに普通紙をセットする方法を記載しています。

セットできる用紙

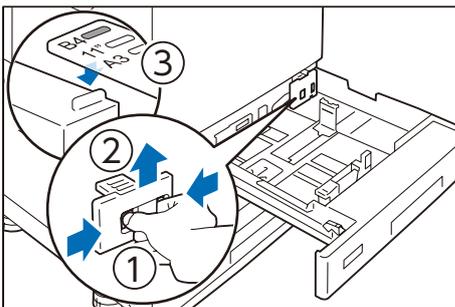
用紙サイズ (mm)	トレイ1 たて：100~297、よこ：148~432 トレイ2、3、4 たて：100~320、よこ：148~457
用紙坪量 (g/m ²)	52~300

1. 用紙トレイをいっぱいまで引き出します。

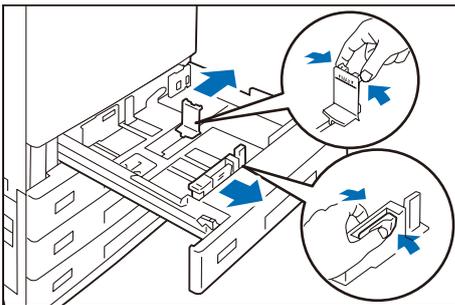


2. 用紙がセットされている場合は、用紙を取り出します。

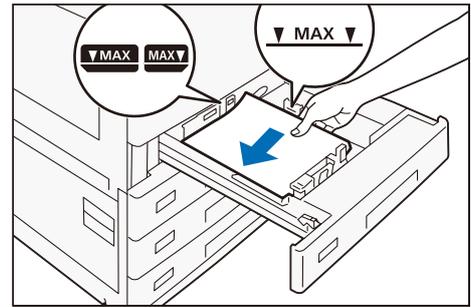
3. JIS B4以上のサイズの用紙をセットするときは、用紙後端ガイドのつまみを挟んで持ち上げ、表示されたサイズの穴に取り付けます。



4. 2か所のガイドクリップを指でつまみ、用紙サイズに合わせます。



5. 用紙をさばき、印字面を上にして、用紙を矢印の方向にそろえてセットします。



注記

用紙上限線を超える量の用紙をセットしないでください。紙詰まりや故障の原因となります。

補足

ガイドは、用紙サイズに正しく合わせてください。ガイドの位置がずれていると、用紙が正常に搬送されず、紙詰まりの原因となることがあります。

6. 用紙トレイを押し込みます。

7. 用紙種類を変更した場合は、設定画面で用紙トレイの設定をします。

1. [設定] > [用紙トレイ設定] をタップします。



2. 用紙をセットした用紙トレイの番号をタップしたあと、用紙の項目を設定し、[OK] をタップします。

8. プリントするときは、プリンタードライバーで、用紙設定をします。

コピー/ファクス/スキャン

1. 原稿をセットします。



原稿送り装置

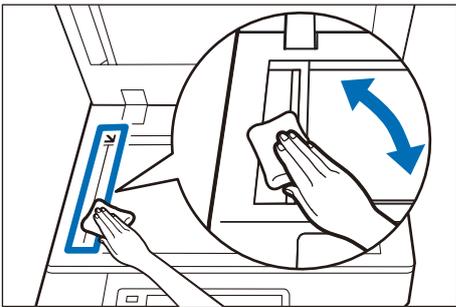
セットできる用紙

用紙サイズ (mm)	たて	49~297
	よこ	85~432
用紙坪量 (g/m ²)	片面時	38~128
	両面時	50~128

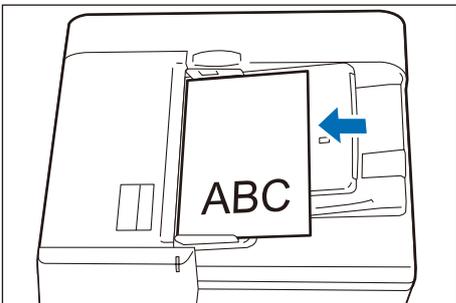
補足

- ファクスキットが取り付けられている場合のセットできる用紙サイズは、よこ：~600 mmです。
- 非定形サイズの49×85 mm ~ 55×91 mmは38~209 g/m² までの用紙をセットできます。

1. 原稿カバーを開きます。
2. 原稿ガラスの左側にある、細長いガラスと白いプラスチック部分の汚れをふき取ります。



3. 原稿カバーを閉じます。
4. 原稿にフセン紙やテープ、ホチキスやクリップなどがついていないことを確認し、しわや折りが付いている原稿はきちんと伸ばします。
5. 正しく原稿サイズを検知できるように、原稿の左上の角をそろえます。
6. 読み取る面（両面原稿の場合は、おもて面）を上に向けて、原稿送り装置の中央にセットします。



注記

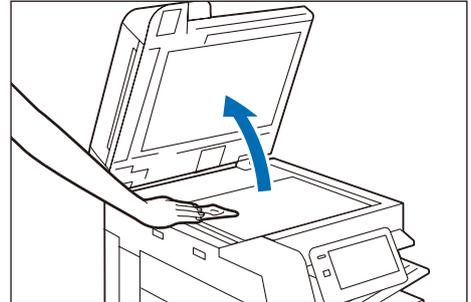
用紙上限線を超える量の原稿をセットしないでください。紙詰まりや故障の原因となります。

原稿ガラス

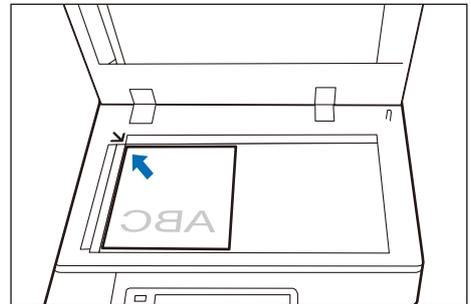
セットできる用紙

用紙サイズ (mm)	たて：~297、よこ：~432
------------	-----------------

1. 原稿カバーを開き、原稿ガラスの汚れをふき取ります。

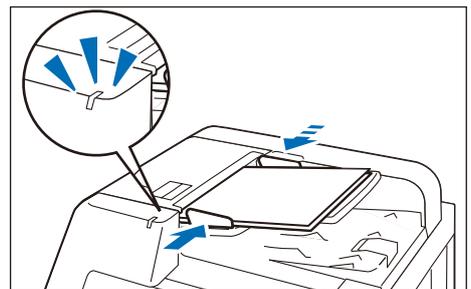


2. 読み取り面を下に向けて、原稿ガラスの左上の角に合わせて原稿をセットします。

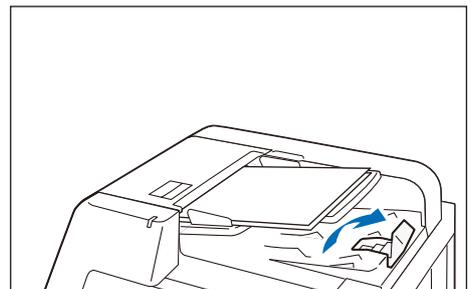


3. 原稿カバーを閉じます。

7. 確認ランプが点灯したら、原稿ガイドを移動して、原稿の両側に合わせます。

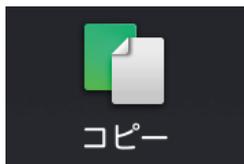


8. 原稿受けストッパーを開きます。



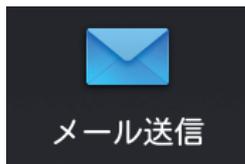
2. [アプリ] 画面で目的のアプリケーションアイコンをタップします。

コピー



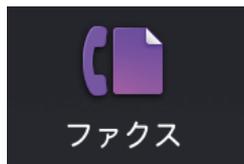
コピー

スキャン



メール送信

ファクス



ファクス

コピー

1. 必要に応じて、各項目を設定します。



2. [スタート] をタップします。

ファクス

1. キーボード入力、またはアドレス帳 (👤)、リダイヤル (📞) をタップして、宛先を指定します。



2. [完了] または [OK] をタップします。

3. ☰をタップし、必要に応じて、各項目を設定します。

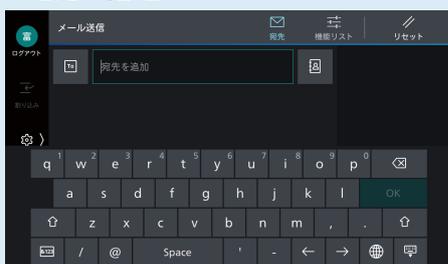
4. [スタート] をタップします。

スキャン (メール送信)

補足

- スキャンの方法は、ほかにも [ボックス保存]、[スキャン送信]、[USB]、[WSD スキャン] があります。
- メール送信をするには、本体のメール環境を設定しておく必要があります。

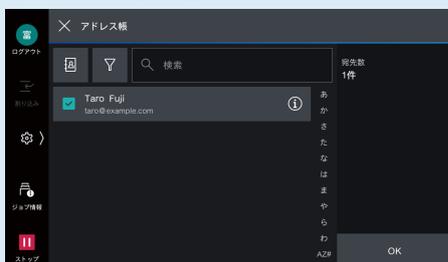
1. キーボード入力、またはアドレス帳 (👤) をタップして、宛先を指定します。



補足

- キーボード入力で複数の宛先を指定する場合は、[宛先を追加] をタップし、続けて宛先を入力します。
- 宛先の種類 (To/CC/BCC) を変更するときは、[To] をタップして宛先を追加します。

2. [完了] または [OK] をタップします。



3. ☰をタップし、必要に応じて、各項目を設定します。



4. [スタート] をタップします。

安全にご利用いただくために

本機を安全にご利用いただくために、本機をご使用になる前に必ず「安全にご利用いただくために」を最後までお読みください。お買い上げいただいた商品は、厳しい安全基準、環境基準に則って試験され、合格した商品です。常に安全な状態でお使いいただけるよう、下記の注意事項に従ってください。

警告

新機能の追加や外部機器との接続など、許可なく改造を加えた場合は、保証の対象とならない場合がありますのでご注意ください。詳しくは、弊社のカスタマーコンタクトセンター、または販売店にお問い合わせください。

各警告図記号は次のような意味を表しています。

	危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡、または重傷を負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高いと思われる事項があることを示しています。			
	警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡、または重傷を負う可能性があると思われる事項があることを示しています。			
	注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負うことが想定される内容、および物的損害の発生が想定される事項があることを示しています。			
<p>▲ 記号は、製品を取り扱う際に注意すべき事項があることを示しています。指示内容をよく読み、製品を安全にご利用ください。</p>					
					
注意	静電気 破損注意	発火注意	破裂注意	感電注意	高温注意
					
回転物注意	指挟み注意			回転部注意	
					
鋭利部注意					
<p>⊘ 記号は、行ってはならない禁止事項があることを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。</p>					
					
禁止	火気禁止	接触禁止		風呂等での使用禁止	
					
分解禁止	水ぬれ注意	ぬれ手注意			
<p>● 記号は、必ず行っていただきたい指示事項があることを示しています。指示内容をよく読み、必ず実施してください。</p>					
					
指示	電源プラグを 抜け	アース線を 接続せよ			

電源、およびアース接続時の注意

警告

 本機の後方から電源コードとともに出ている緑色のアース線を必ず次のいずれかに接続してください。接続せずに使用した場合、感電および火災事故の原因になります。

- 電源コンセントのアース端子
 - 銅片などを850 mm以上地中に埋めたもの
 - 接地工事（D種）を行っている接地端子
- アース接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は必ず、電源プラグを電源から切り離してから行ってください。ご使用になる電源コンセントのアースをご確認ください。アースが取れない場合や、アースが施されていない場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンター、または販売店にご相談ください。

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。

- ガス管（引火や爆発の危険があります）
 - 電話専用アース線、および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があります）
 - 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません）
- アースとの接続が不十分な場合、感電および火災事故の原因になります。

 本機にはD種設置工事を必ず実施してください。接続せずに使用した場合、感電および火災事故の原因になります。

 電源コードは、本機近くのアースが確実に取れる電源コンセントに、単独で差し込んでください。定格未満の延長コードは使わないでください。たこ足配線をしないでください。発熱による火災の原因となります。電源接続に関してご不明な点がある場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンター、または販売店にご相談ください。

 本機の定格電圧値、および定格電流値より容量の大きい電源コンセントに接続して使用してください。本機の定格電圧値、および定格電流値は、本機背面パネルの定格銘板ラベルを確認してください。

 電源プラグは絶対にぬれた手で触らないでください。感電の原因となります。

 電源コードにものを載せないでください。

 電源プラグや電源コンセントに付着したホコリは、必ず取り除いてください。そのまま使用していると、湿気などによって表面に微小電流が流れ、発熱による火災の原因となります。

 同梱、または弊社が指定した専用電源コード以外は使用しないでください。火災、感電の原因になります。また、これら電源コードをほかの機器に使用しないでください。電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、発熱による火災や感電の原因となります。電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線）、弊社のカスタマーコンタクトセンター、または販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

⚠ 注意

❗ 本機の電源を完全に切るためには、電源コンセントから電源プラグを抜く必要があります。緊急時に容易にプラグを抜くことができるよう、本機は電源コンセントの近くに設置してください。

🔌 本機の清掃を行う場合は、電源を切り、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。電源を切らずに本機の清掃を行うと、感電の原因となるおそれがあります。

🚫 本機の電源を入れたままで電源コンセントから電源プラグを抜き差ししないでください。アークによってプラグが変形し、発熱による火災の原因となるおそれがあります。

❗ 電源プラグを電源コンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っばるとコードが傷つき、火災、感電の原因となるおそれがあります。

🔌 連休などで長期間、本機（ファクシミリ機能など）をご使用にならないときは、安全のために電源を切り、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。なお電源を切った場合は、ファクシミリによる受信ができなくなりますのでご注意ください。

❗ 1か月に一度は本機の電源を切り、次のような点検をしてください。

- 電源プラグが電源コンセントにしっかり差し込まれているか
 - 電源プラグに異常な発熱、およびサビ、曲がりなどはないか
 - 電源プラグや電源コンセントに細かいホコリが付いていないか
 - 電源コードにきれつや擦り傷などがないか
- 異常な点にお気づきの場合はただちに使用を中止し、電源を切り、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。その後、弊社のカスタマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。

■ 設置時の注意

⚠ 警告

❗ 本機は、電源コードの上を人が踏んで歩いたり足で引っ掛けたりするような場所には設置しないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。

⚠ 注意

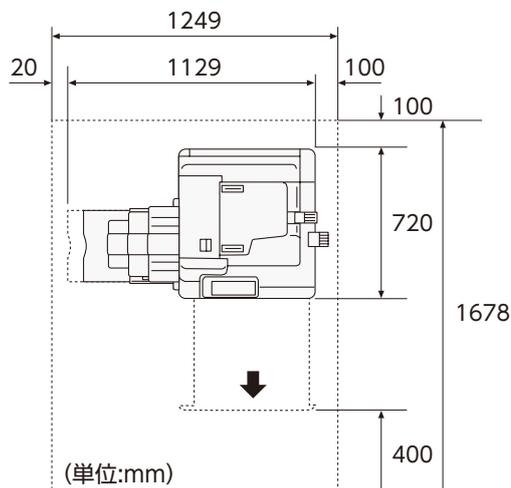
- 🚫 次のような場所には、本機を設置しないでください。
- 発熱器具に近い場所
 - 揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものの近く
 - 高温、多湿の場所や換気が悪くホコリの多い場所
 - 直射日光の当たる場所
 - 調理台や加湿器のそばなど

🚫 本機の包装に使用している袋、シートは幼児の手の届くところに置かないでください。頭からかぶるなどしたときに、口や鼻をふさぎ、窒息するおそれがあります。

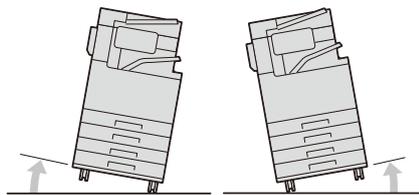
❗ 本機は、約118 kg（最小構成時）に耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。本機の転倒などによりケガの原因となるおそれがあります。

❗ 本機には通気口があります。本機の通気口をふさがないでください。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となるおそれがあります。本機を安全に正しく使用し、本機の性能を維持するために、次の設置スペースを確保してください。また、本機の異常状態によっては、電源プラグを電源コンセントから抜くことがありますので、設置スペース内に物を置かないでください。

最小構成時



❗ 本機を10°以上に傾けないでください。転倒などによるケガの原因となるおそれがあります。



❗ 本機を設置したあとは、キャスターに付いている移動防止用ストッパーを必ずロックしてください。ストッパーをロックしないと、本機が思わぬ方向に動き、ケガの原因となるおそれがあります。

❗ 本機の電線やケーブルを束ねるために、ケーブルタイやパイラルチューブ等を使う場合は、弊社から提供される部品をご利用ください。弊社の提供品以外の部品のご使用は事故の原因となる場合があります。

■ 機械使用上の注意

警告

 マニュアルに明記されていない作業は危険ですので、絶対に行わないでください。

 本機はお客様が危険な箇所に触らないよう設計されています。危険な箇所はカバーなどで保護されていますので、ネジで固定されているパネルやカバーなどは、絶対に開けないでください。感電やケガの原因となるおそれがあります。

 次のようなときにはただちに使用を中止し、電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。その後、弊社のカスタマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると、感電や火災の原因となるおそれがあります。

- 本機から発煙したり、本機の外側が異常に熱くなったとき
- 異常な音やにおいがするとき
- 電源コードが傷ついたり、破損したとき
- ブレーカーやヒューズなど部屋の安全装置が働いたとき
- 本機の内部に水が入ったとき
- 本機が水をかぶったとき
- 本機の部品に損傷があったとき

 本機の隙間や通気口に物を入れないでください。また、次のものは、本機の上に置かないでください。

- 花瓶やコーヒーカップなどの液体の入ったもの
- クリップやホチキスの針などの金属類
- 重いもの

液体がこぼれたり、金属類が隙間から入り込むと本機の内部がショートし、火災や感電の原因となるおそれがあります。

 電気を通しやすい紙（折り紙/カーボン紙/導電性コーティングを施された紙など）を使用しないでください。ショートして火災の原因となるおそれがあります。

 本機の性能の劣化を防ぎ安全を確保するため、清掃には指定されたものをご使用ください。スプレータイプのクリーナーは、引火や爆発の危険がありますので、絶対に使用しないでください。

 複数の用紙トレイを同時に引き出すと、不意に本機が押された場合に本機全体が傾き、転倒などによりケガの原因となるおそれがあります。用紙トレイを引き出す場合は、必ず一段ずつ引き出して使用してください。

 用紙トレイを引き抜いて紙詰まり処理を行う場合には、弊社のカスタマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。お客様自身で行うと思わぬケガをするおそれがあります。

注意

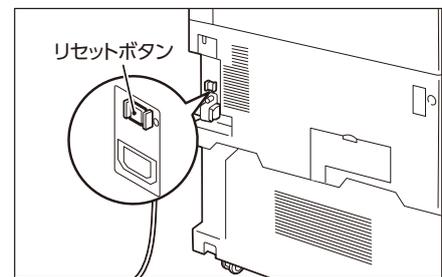
 本機に貼ってあるラベルの警告や説明には必ず従ってください。特に「高温注意」「高圧注意」のラベルが貼ってある箇所には、絶対に触れないでください。やけどや感電の原因となるおそれがあります。

 本機の安全スイッチ（セーフティインターロックスイッチ）を無効にしないでください。本機の安全スイッチに磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。本機が作動状態になる場合があり、ケガや感電の原因となるおそれがあります。

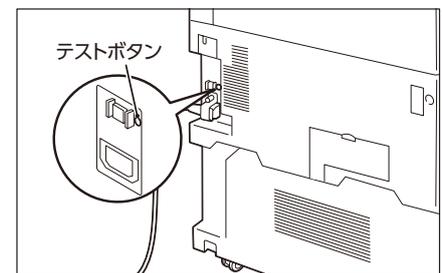
 本機には漏電ブレーカーが付いています。本機に漏電が起こったときに、電気回路を自動的に遮断して漏電や火災などの事故を防ぐためのものです。通常は入っている状態にしておきます。1か月に一度は漏電ブレーカーが正常に働くかを確認してください。異常などがある場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンター、または販売店までご連絡ください。なお、漏電ブレーカーの確認手順は次のとおりです。

1. 電源を切ります。

2. ブレーカーのリセットボタンを押し込みます。このとき、リセットボタンから手を離しても、リセットボタンが押し込まれたままの状態となります。



3. ボールペンなどの先のとがったもので、テストボタンを軽く押しします。押し込まれていたリセットボタンが突き出ます。これで確認は終了です。



4. 再度、リセットボタンを押して、リセットボタンを押し込んだ状態に戻します。

 本機の内部に詰まった用紙や紙片は無理に取り除かないでください。特に、定着部やローラー部に用紙が巻き付いているときは無理に取らないでください。ケガややけどの原因となるおそれがあります。ただちに電源を切り、弊社のカスタマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。

  フィニッシャーが作動しているとき、用紙排出部には触れないでください。ケガの原因となるおそれがあります。

  詰まったホチキス針を取り除くときには、指などにケガをしないように十分注意してください。

 まれに排出された用紙に針が刺さる場合がありますので、指などにケガをしないように十分に注意してください。

 安全スイッチ（セーフティインターロックスイッチ）には、絶対に触れないでください。前面カバーを開けたとき、安全スイッチが働いて、本機は作動しなくなります。安全スイッチを硬貨やドライバーなどで押すと、本機は作動状態になり、ケガの原因となることがあります。

 穴があいた用紙（市販の穴あき用紙など）の穴がある位置に、ホチキスを留めないでください。飛び出した針により、ケガの原因となるおそれがあります。

 書籍などの厚手の原稿をコピーするとき、原稿を強く押さえないでください。原稿ガラスが割れてケガの原因となるおそれがあります。

 長時間本機を使用するときは、1時間ごとに10～15分の休憩をとり、目および手を休めてください。

 本機を移動するときは、弊社カスタマーサポートセンターまたは販売店にご連絡ください。

 換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量にコピー（またはプリント）すると、オゾンなどの臭気により、快適なオフィス環境が保てない原因となります。換気や通風を十分行うように心がけてください。

■ 消耗品取り扱い上の注意

警告

 消耗品は、箱やボトルにある説明に従って保管してください。

 こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取らないでください。本機内、およびトナーカートリッジ、トナー回収ボトル等に付着したトナーを電気掃除機で吸引することもやめてください。掃除機を使用すると、掃除機内部のトナーが、電気接点の火花などにより、発火、または爆発するおそれがあります。床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布などで拭き取ってください。大量にこぼれた場合、弊社のカスタマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。

 トナーカートリッジは、絶対に火中に投げないでください。トナーカートリッジに残っているトナーが発火、または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナーカートリッジは弊社にて回収いたしますので、必ず弊社のカスタマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。

 トナー回収ボトルは、絶対に火中に投げないでください。トナーが発火、または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナー回収ボトルは、弊社にて回収いたしますので、必ず弊社のカスタマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。

注意

 ドラムカートリッジやトナーカートリッジは、幼児の手が届かないところに保管してください。幼児がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談し指示を受けてください。

 ドラムカートリッジやトナーカートリッジを交換するときは、トナーが飛散しないように注意してください。また、トナーが飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したり、目や口に入らないように注意してください。

 次の事項に従って、応急処置をしてください。

 トナーが皮膚や衣服に付着した場合は、石けんを使って水でよく洗い流してください。

■ トナーが目に入った場合は、目の痛みがなくなるまで15分以上多量の水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。

■ トナーを吸引した場合は、新鮮な空気のところへ移動し、多量の水でよくうがいをしてください。

■ トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだトナーを吐き出し、水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲んでください。また、すみやかに医師に相談し指示を受けてください。

規制について

本製品は、電波法による総務省高周波利用設備型式指定を受けております。

警告

 本製品から微弱な電磁波が出ています。植込み型医療機器（ペースメーカー等）を装着されている方で、体調に何らかの変化があると感じたときは、本製品からただちに離れ、医師にご相談ください。

■ 電磁波障害対策自主規制について

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

注意

 EMI基準への適合を維持するため、本機にはかならずシールドタイプのケーブルを使用してください。

■ 受信障害について

 ラジオの雑音、テレビなどの画面に発生するチラツキ、ゆがみが本機による影響と考えられる場合、本機の電源を切ってください。

電源を切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次の方法を組み合わせて、障害を防止してください。

- 本機とラジオやテレビ双方の位置や向きを変える
- 本機とラジオやテレビ双方の距離を離す
- 本機とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変える
- 受信アンテナやアンテナ線の配置を変える（アンテナが屋外にある場合は、電気店にご相談ください）
- ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変える

■ 高調波自主規制について

本機器はJIS C 61000-3-2（高調波電流発生限度値）に適合していません。

SDS（安全データシート）の提供について

「労働安全衛生法」及び又は「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」（PRTR法）に基づき、本機用消耗品のSDSを以下の通り提供いたします。

また、SDSは弊社ホームページにおいても公開しています。

1/6

安全データシート

整理番号 : RT139GJ06

作成日 : 2021/07/01

版 : 1

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : Apeos 4570/Apeos 3570
トナー(ブラック)

供給者の会社名称 : 富士フイルムビジネスイノベーション株式会社

住所 : 〒107-0052 東京都港区赤坂 9-7-3

担当部門 : [担当部門] 品質保証部 環境商品安全統括 G
[電話番号] 046-237-1686
[FAX 番号] 046-238-5796

2. 危険有害性の要約

GHS分類

本製品は、GHS 分類基準上、危険有害性のある混合物には分類されない。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分および含有量 :

化学名	含有量(重量%)	官報公示整理番号	CAS Registry No.
		(化審法/安衛法)	
ポリエステル樹脂	< 90%	非開示	非開示
酸化鉄(フェライトとして)	10 - 20%	1-357	1309-37-1
酸化マンガン(フェライトとして)	3.6%	1-475	1344-43-0
パラフィンワックス	< 10%	8-430	8002-74-2
カーボンブラック	< 10%	非該当	1333-86-4
青色顔料	< 10%	5-3299	147-14-8
無定形シリカ	< 10%	1-548	7631-86-9
二酸化チタン	< 1%	1-558	13463-67-7

処方成分として、鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、ポリ臭化ビフェニル類(PBB 類)、ポリ臭化ジフェニルエーテル類(PBDE 類)、フタル酸ビス(2-エチルヘキシル (DEHP)、ブチルベンジルフタレート(BBP)、ジブチルフタレート(DBP)、およびジイソブチルフタレート(DIBP)を含有しない

4. 応急措置

吸入した場合 : 新鮮な空気のところへ移す。多量の水でよくうがいをする。
皮膚に付着した場合 : 石鹸を使って水でよく洗い流す。
目に入った場合 : 15分以上多量の水で洗い流した後、医師の診察を受ける。

Apeos 4570/Apeos 3570 トナー(ブラック)
富士フイルムビジネスインノベーション株式会社 RT139GJ06

作成日 : 2021/07/01

版 : 1

飲み込んだ場合 : 水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲ませる。医師の診察を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤 : 噴霧水、泡、粉末消火薬剤。ただし、機械内で燃焼した際には、電気製品における火災と同様の方法で消火する。

使ってはならない消火剤 : 情報なし

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 吸入はできるかぎり避ける。大量にこぼした場合は、必ず弊社のテレフォンセンター、または販売店にご連絡ください。

環境に対する注意事項 : 下水道や河川への漏出を防ぐ。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 周囲に火種がないことを確認する。
少量の場合はほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布等で拭き取る。大量にこぼした場合は、必ず弊社のテレフォンセンター、または販売店にご連絡ください。

こぼれた製品は電気掃除機で吸い取らないこと。(掃除機を用いると微粒子が掃除機内部に充満し、電気接点の火花などにより、発火または爆発するおそれがある)

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 弊社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。
局所排気・全体換気 : 弊社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。
注意事項 : 火中に絶対に投じない。カートリッジをこわしたり、分解したりしない。
安全取り扱い注意事項 : 火中に絶対に投じない。カートリッジをこわしたり、分解したりしない。

保管

技術的対策 : 必要なし
適切な保管条件 : 直射日光を避け、乾燥した換気のよいところに、低温で保管する。子供の手の届くところに保管しない。
安全な容器包装材料 : 弊社の容器包装材料を使用すること。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 弊社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。

管理濃度 : 設定されていない。

許容濃度 : 日本産業衛生学会 第3種粉塵 8 mg/m³ (総粉塵)
2 mg/m³ (吸入性粉塵)
ACGIH(2021年版) 粒子状物質 10 mg/m³ (総粉塵)
3 mg/m³ (吸入性粉塵)

保護具 : 弊社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。

Apeos 4570/Apeos 3570 トナー(ブラック)
 富士フイルムビジネスイノベーション株式会社 RT139GJ06

作成日 : 2021/07/01

版 : 1

9. 物理的及び化学的性質

外観	: 粉体
色	: 黒色
臭い	: 微かなプラスチック臭
pH	: 適用外
融点/凝固点	: データなし
沸点、初留点と沸騰範囲	: 適用外
引火点	: 適用外
自然発火温度	: 発火性なし
燃焼又は爆発範囲の上限/下限	: データなし
蒸気圧	: 適用外
蒸気密度	: 適用外
比重	: データなし
溶解性	: 不溶(水)
オクタノール/水分配係数	: 適用外
分解温度	: データなし
粘度	: 適用外

10. 安定性及び反応性

安定性/反応性	: 安定
危険有害反応可能性	: 可能性なし
避けるべき条件	: 特になし
混触危険物質	: 特になし
危険有害な分解生成物	: 情報なし

11. 有害性情報

以下のデータは、本製品の試験結果、もしくは類似物の試験結果からの予測である。

急性毒性 (50%致死量)

経口→LD50(ラット)	: >2000 mg/kg (実質上無毒) (印字成分)
経皮→LD50	: データなし
皮膚刺激性(ラビット)	: 刺激性なし
皮膚腐食性	: 腐食性なし
眼に対する重篤な損傷又は刺激性(ラビット)	: 刺激性なし(印字成分)
呼吸器感作性又は皮膚感作性(モルモット)	: 皮膚感作性なし
生殖細胞変異原性	: AMES 試験 陰性
発がん性 - 説明	: カーボンブラックは、国際がん研究機関(IARC)によって“グループ 2B(ヒトに対して発癌性があるかもしれない)”に分類される。しかし、カーボンブラックを含有するトナーに対するラットの長期吸入暴露試験では、「発癌の証拠なし」の結論を得ている。二酸化チタンは IARC の発がん性分類で、グループ 2B に分類される。動物実験では、ラットのみ肺腫瘍

Apeos 4570/Apeos 3570 トナー(ブラック)
富士フイルムビジネスイノベーション株式会社 RT139GJ06

作成日 : 2021/07/01

版 : 1

が認められた。これは、ラットの肺クリアランスメカニズムの過負荷(オーバーロード現象)によるもので、本製品の通常使用時にはあり得ないと推察される。呼吸器の疾病と二酸化チタンの作業暴露との関係は、これまでの疫学調査で認められなかった。なお、カーボンブラック及び二酸化チタン以外の構成成分は発がん物質(文献 1)に該当しない。

生殖毒性
特定標的臓器毒性(単回曝露)
特定標的臓器毒性(反復曝露)

生殖毒性及び発生毒性物質(文献 2)を含有せず。
データなし

ラットを用いた 2 年間にわたるトナー吸入曝露試験において、毎日、中用量(4 mg/m³)もしくは高用量(16 mg/m³)の曝露環境にさらされていた群で、肺に軽度の線維症が観察されたが、低用量(1 mg/m³)の群については、肺に特別な変化は認められなかった。弊社商品の通常の使用に伴って排出されるトナー量は、1 日当たり 1mg/m³ を大幅に下回っており、製品を日常的に使用する限りでは人体への影響はないと判断している(文献 3)。

吸引性呼吸器有害性
その他

対象外
データなし

12. 環境影響情報

以下のデータは、本製品の試験結果、もしくは類似物の試験結果からの予測である。

生態毒性

魚類 96 時間 LL50(ヒメダカ)	: >500 mg/L (実質上無毒) (印字成分)
ミジンコ類 48 時間 EL50 (オオミジンコ)	: >100 mg/L (実質上無毒) (印字成分)
藻類 72 時間 ErL50(ムレミカヅキモ)	: >100 mg/L (実質上無毒) (印字成分)

残留性/分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
他の有害影響	データなし

13. 廃棄上の注意

適切な処理が必要なので、必ず弊社のテレフォンセンター、または販売店に渡すこと。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報	: 非危険物
国連番号	: 非該当
海洋汚染物質	: 適用されない

Apeos 4570/Apeos 3570 トナー(ブラック)
富士フイルムビジネスイノベーション株式会社 RT139GJ06

作成日 : 2021/07/01

版 : 1

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送さ れる液体物質 IBC コード	: 適用されない
国内規制	
海上規制情報	: 非危険物
航空規制情報	: 非危険物
その他の情報	: 規制されていない

15. 適用法令

化審法	: 非該当
労働安全衛生法	: 特定化学物質第2類物質、管理第2類物質(特定化学物質 障害予防規則第2条第1項第2, 5号) 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1 項、施行令第18条第1号、第2号・別表第9) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、 施行令第18条の2第1号、第2号・別表第9) カーボンブラック(政令番号: 130) (<10%) 固形パラフィン(政令番号: 170) (<10%) 酸化チタン(IV)(政令番号: 191) (<10%) 酸化鉄(政令番号: 192) (10 ~ 20%) 銅及びその化合物(政令番号: 379) (<10%) マンガン及びその無機化合物(政令番号: 550) (<10%)
毒物及び劇物取締法	: 非該当
消防法	: 指定可燃物(ただし、合成樹脂類: 3000kg 以上)
化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法)	: 第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表 第1) マンガン及びその化合物(政令番号: 412) マンガンとして (2.8%)

16. その他の情報

本製品安全データシートは現時点で入手できた情報に基づいて作成しておりますが、構成成分やデータ・評価内容を保証するものではありません。危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取扱いには十分ご注意ください。また、内容を弊社の許可なく一方的に改定・使用され、何らかの事故が発生した場合は、弊社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

CAS Registry Number (R) is a Registered Trademark of the American Chemical Society.

引用文献

(文献 1) : IARC Monographs on the Evaluation of the Carcinogenic Risks to Humans (WHO.IARC:国

Apeos 4570/Apeos 3570 トナー(ブラック)
富士フイルムビジネスソリューション株式会社 RT139GJ06

作成日 : 2021/07/01
版 : 1

際癌研究機関)

- ・National Toxicology Program(NTP) Report on Carcinogens (NTP:米国・国家毒性プログラム)
 - ・TLVs and BEIs (ACGIH:米国・政府産業衛生専門家会議)
 - ・物質及び混合物の分類・表示・包装、及び指令 67/548/EEC と 1999/45/EC を改正・廃止、また規則(EC)No1907/2006 を改正することに関する規則(EC)No1272/2008 (CLP 規則)
 - ・産業衛生学雑誌(日本産業衛生学会)
- (文献 2) : ・物質及び混合物の分類・表示・包装、及び指令 67/548/EEC と 1999/45/EC を改正・廃止、また規則(EC)No1907/2006 を改正することに関する規則(EC)No1272/2008 (CLP 規則)
- (文献 3) : ・Pulmonary Response to Toner upon Chronic Inhalation Exposure in Rats
H.Muhle et.al Fundamental and Applied Toxicology 17.280-299(1991)
・Lung Clearance and Retention of Toner, Utilizing a Tracer Technique, during Chronic Inhalation Exposure in Rats
B.Bellmann Fundamental and Applied Toxicology 17.300-313(1991)

本製品のマニュアルについて

本製品のマニュアルは公式サイトでご覧になれます。

インターネットサービスプロバイダーの利用費や通信費はお客様負担となります。

モバイル端末でQRコードを読み取るか、Webブラウザから次にアクセスしてください。

<https://www.fujifilm.com/fb/support>

検索バーで、お使いの機種名を検索してください。



エラーコードが表示されたときは

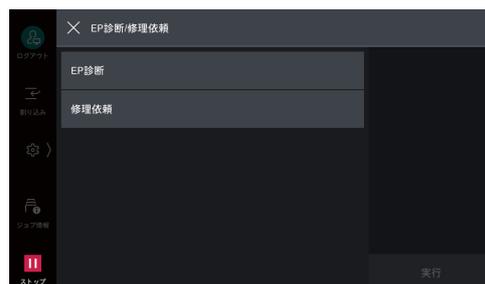
エラーが発生してプリントが正常に終了しなかった場合や本機に故障が発生した場合は、タッチパネルディスプレイにメッセージとエラーコード(***_***)が表示されます。

エラーコードの原因と処置方法は、公式サイトで確認できます。

1. 弊社公式サイトにアクセス
2. 検索ボックスにエラーコードを入力し、検索
3. 商品名を入力し、検索

EP-BBサービス

機械管理者モードで、 > [設定] > [保守] > [EP診断/修理依頼] をタップすると、弊社のカスタマーコンタクトセンターに点検・修理を依頼できます。



保守・操作・修理（内容・期間・費用など）のお問い合わせ、消耗品のご注文

カスタマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。電話番号は、機械本体に貼り付けのカードやシールに書かれています。

受付時間 土曜、日曜、祝日を除く
9時～17時30分（一部の地域では異なります）

電話番号 機械本体の貼付カードをご確認ください。

●ご意見やご相談の受付窓口

お客様相談センター

電話：0120-27-4100（通話料無料）

FAX：0120-05-5035（通話料無料）

土、日、祝日および弊社指定休業日を除く
9時～12時、13時～17時

フリーダイヤルは、海外からはご利用いただけません。
また、一部のIP電話からはつながらない場合があります。
お話の内容を正確に把握するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させていただくことがあります。

ご使用前に必ずお読みください

本機を使用される前に、『リファレンスガイド 本体編』に記載されている「使用権許諾条項」（アドビ社のソフトウェアの使用に関する条項）を必ずお読みください。

リファレンスガイドは、公式サイトでご覧になれます。

各ソフトウェアは、対象となる各条項にご承認いただける場合のみご使用ください。使用を開始されたときは、各条項のすべてをご承諾いただいたものとさせていただきます。もし、「ソフトウェア使用許諾事項」にご承認いただけない場合は、本商品をお買い求めいただいた販売店にお問い合わせください。

セキュリティ認証の取得状況については、公式サイトを参照してください。また、ISO/IEC 15408認証製品として使用する場合は、公式サイトから本機種の『セキュリティ機能補足ガイド』を参照し、適切に確認・設定してください。